

塾のHP制作 費用・相場ガイド 2026

HP制作を検討しはじめた塾オーナーのために、費用の相場・内訳・契約時の注意点を正直にまとめました。特定の制作会社をすすめる意図はありません。



HP制作を検討しはじめたとき、多くの塾オーナーが最初にぶつかる壁があります。「相場がわからない。見積もりが届いても、高いのか安いのかも判断できない」——この資料は、費用の相場・内訳・契約時の注意点を、できるだけ正直にまとめた、比較・検討のための資料です。

第1章 費用の全体相場

費用帯	主な依頼先	向いているケース
～10万円	ノーコードツール・格安制作	情報掲載のみ。予算を最小限に抑えたい
10～30万円	フリーランス	ある程度カスタマイズしたい。知人紹介など
30～100万円	中堅制作会社・専門特化型	オリジナルデザイン・写真撮影・保守込みで依頼したい
100万円～	大手制作会社	大規模サイト・システム連携・SEO戦略まで含めたい

❗ 費用帯が上がるほど「できること」が増えますが、必ずしも高い＝いい、ではありません。塾の規模・目的・今後の更新頻度によって、適切な予算感は変わります。

第2章 費用を左右する5つの要因

1 ページ数・情報量

トップページ1枚だけのシンプルな構成か、コース別・学年別・スタッフ紹介・ブログなどを含む複数ページ構成かによって、作業量が大きく変わります。一般的に、ページ数が増えるほど費用も比例して上がります。

2 デザインのオリジナル度

既存のテンプレートに文字・写真を流し込む「テンプレ型」と、塾のブランドに合わせてゼロから設計する「オリジナル型」では、費用・完成度・他塾との差別化のしやすさが変わります。テンプレ型は費用を抑えられますが、近隣の競合塾と見た目が似てしまうリスクがあります。

3 機能・システムの有無

体験授業の予約フォーム・ブログ機能・資料請求・LINE連携など、機能を追加するたびに実装工数が増え、費用に反映されます。「最初から全部入れる」より「まず基本を作り、必要になったら追加する」という進め方のほうが費用を抑えやすいです。

4 写真撮影の有無

フリー素材だけのHPと、教室・講師・授業風景を実際に撮影したHPとでは、「信頼感」の印象が大きく変わります。撮影費用は制作とは別に発生することが多く、相場は3～15万円程度です。

！ 確認ポイント

見積もりの段階で「撮影が含まれるかどうか」を必ず確認してください。含まれていない場合、別途費用が発生します。

5 公開後の保守・更新サポート

「制作費」とは別に、公開後の維持費用が発生します。更新や修正を制作会社に依頼できる「月額保守プラン」が設定されているケースと、すべて買い切りで追加作業はその都度見積もりになるケースがあります。どちらが合っているかは「自分でどこまで更新できるか」によって変わります。

第3章 費用の内訳（何にいくらかかるか）

工程	内容	一般的な相場目安
ディレクション・企画	ヒアリング・構成設計・進行管理	5～20万円
ライティング・コピー	各ページの文章作成	3～10万円
デザイン	ビジュアル・レイアウト設計	10～50万円
コーディング・実装	HTML/CSS・CMS構築	10～50万円
写真撮影	教室・講師・授業風景など	3～15万円
公開・設定	ドメイン・サーバー設定・初期SEO	1～5万円
保守運用（月額）	更新代行・バックアップ・修正	5,000～30,000円／月

！ 格安プランは上記の一部工程が省略・簡略化されていることがほとんどです。見積もりをもらう際は「どの工程が含まれているか」を確認することをおすすめします。

第4章 初期費用だけで考えると失敗する理由

継続的にかかるコスト	年間費用の目安
サーバー費用	1～3万円／年
ドメイン費用	1,000～3,000円／年
SSL証明書	無料～3万円／年
保守・更新費用	6～36万円／年（月額プランの場合）
追加修正・ページ追加	都度見積もり（1～10万円程度）

！ 「安く作って高く維持」パターンに注意。初期費用を極端に抑えた場合、追加修正のたびに高額な費用が発生する契約になっているケースがあります。「初期費用10万円・修正1回3万円～」という条件は、5年間で見ると割高になることがあります。

第5章

契約前に確認すべき「権利・条件」

1

ソースコードの著作権は誰のものか

制作物（HTML・CSS・プログラム）の著作権が「制作会社側に帰属する」契約になっている場合があります。この場合、他の会社へ乗り換えるときに「HPを持ち出せない」「作り直しが必要になる」という事態が起きます。

! 確認ポイント

「納品後は著作権が依頼者に移転する」条件かどうかを、契約書の段階で必ず確認してください。

2

ドメインとサーバーの契約名義

ドメイン（URLのアドレス）やサーバー（データの保管場所）の契約名義が制作会社になっている場合、制作会社との契約を解除するとURLが使えなくなるリスクがあります。

! 確認ポイント

契約名義は自社（または自分）にすることを強くおすすめします。設定手順がわからない場合は制作会社に教えてもらいながら自分で登録しましょう。

3

写真・素材の使用権

撮影写真・購入素材・フォントなどの使用権が、どの範囲まで認められているかを確認してください。SNSや印刷物への転用ができない条件になっている場合があります。

4

制作会社が廃業・倒産した場合の対応

制作会社のサーバーにデータが保管されている場合、倒産や廃業でHPが消える可能性があります。

! 確認ポイント

データのバックアップを自分でも保持できるか、あらかじめ確認しておくことが重要です。「バックアップデータを定期的に渡してもらえるか」を事前に確認してください。

5 解約・乗り換え時の条件

月額保守プランを解約したとき、更新作業が止まるだけなのか、HPが非公開になるのか、データを引き渡してもらえるのかは、契約内容によって異なります。

! 確認ポイント

「いつでも乗り換えられる状態か」を事前に確認しておくことが、長期的なリスク管理になります。

第6章 「安さだけ」で選ぶと起きること

1 テンプレ型で「どこにでもあるHP」になった

テンプレ型で制作すると、近隣の競合塾と同じデザインになることがあります。「どこにでもあるHP」では、保護者に「この塾だから問い合わせよう」という動機が生まれません。「他と似ている」は、塾にとって致命的な弱点になります。

2 写真が素材だけで「温度感が伝わらない」

塾は「人」を選ぶサービスです。先生の顔が見えない、教室の雰囲気がわからないHPは、保護者から選ばれにくい傾向があります。写真素材だけで済ませると、「この先生に任せたい」という安心感が伝わりません。

3 情報が古いまま放置されている

保守体制がなく、自分で更新もできない状態になると、授業料・講師情報・合格実績が古いまま放置されます。「この塾、まだ存在しているのか」という不信感を保護者に与えることになります。

第7章

発注先を選ぶときのチェックポイント

1

教育・塾のHP制作実績があるか

業種への理解がない制作会社は、「保護者が本当に知りたいこと」をデザインに反映できません。実績事例を見て、塾・学校・スクール系のHPを作った経験があるかを確認してください。

2

写真撮影まで対応しているか

デザインと撮影を別々の会社に依頼すると、スケジュール調整・費用管理・品質のすり合わせが複雑になります。撮影込みで対応できる制作会社のほうが、完成品の一体感が出やすいです。

3

公開後のサポート内容が明確か

「公開したら終わり」の制作会社か、公開後の保守・更新・相談に対応している制作会社かで、長期的な付き合いやすさが大きく変わります。サポート範囲・対応スピード・費用感を事前に確認してください。

まとめ 発注前チェックリスト

- 1 ☐ 費用帯と依頼先の特徴を把握した
- 2 ☐ 費用を左右する5つの要因を理解した
- 3 ☐ 初期費用だけでなく、5年間の維持費用も試算した
- 4 ☐ ソースコードの著作権帰属（誰のものか）を確認した
- 5 ☐ ドメイン・サーバーの契約名義を確認した
- 6 ☐ 写真・素材の使用権（転用範囲）を確認した
- 7 ☐ データのバックアップ方法を確認した
- 8 ☐ 解約・乗り換え時の条件を確認した
- 9 ☐ 教育・塾系の制作実績があることを確認した

この資料をご覧いただいた方へ

制作費5%OFFでご提案します。まずは無料でご相談ください。

Arclareは、塾・教育事業者のHP制作に特化したWeb制作会社です。
この資料をご覧いただいた方には、制作費を5%OFFでご提案しています。
まずは相談だけでも大歓迎です。お気軽にご連絡ください。

▶ 無料相談・お問い合わせ arclarejp.com/contact/

発行：Arclare（arclarejp.com） / 本資料の無断転載・複製を禁じます。